

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

No. 2

科目タイトル	化学物質総合管理学概論1		
科目概要	人類は膨大な化学物質を生み出し活用してきた。そして生産から使用、廃棄のプロセスにおいて、化学物質のリスクを総合的に管理する仕組みを構築してきた。化学物質は世界共通の科学的方法論に基づいて、その有用性や危険有害性を評価し、リスクを論じることができ、さらに現実の影響が観測されない段階であっても所要の措置を講じることが可能となってきた。ここではこのような社会システムにおける化学物質管理についてその意義とあり方を論じる。また、一般市民の意識の高まりから、派生する社会的課題に適切に対処して、企業体質を変革すること		
共催機関名	化学生物総合管理学会	レベル	【専門・基礎、中級】
講義枠	土 10:00-11:30, 11:50-13:20		

サブタイトル	No.	講義タイトル	講義概要	講義日	講師名	所属
化学物質総合管理学総説	1	化学物質総合管理学総説	化学物質総合管理がなぜ必要か、科学・技術の利用を生活・社会に生かすという観点と、化学品メーカーから最終製品メーカーまで安全・安心という付加価値を社会に提供するという観点から、解説する。また、本学群で目指す化学物質総合管理の姿と、本学群の全体像と科目について述べる。	9/18 10:00-11:30	永田裕子	富士総合研究所
社会システムにおける化学物質管理	2	社会システムにおける化学物質管理概論	社会システムにおける化学物質のリスク管理の対応について、背景・経緯、問題点・課題、社会システムに求められる機能の観点から解説し、また、科学的知見に基づく化学物質リスク評価と社会システムにおける管理の関係について解説する。	9/18 11:50-13:20	永田裕子	富士総合研究所
	3	化学物質管理に関する国際動向(1)	1960年代(サイレトスプリング)から1992年のアジェンダ21、さらに最近のEUのWhite Paper、米国のFood Quality Protection Act (FQPA)等にいたる化学物質に関する国際動向について概要を解説する。米国EPAにおける化学物質の発がん性評価の変遷とFQPA以降の化学物質評価の取り組みについて具体的な事例を紹介する。また、化学物質のリスク評価と管理を担う人材の育成について日米の状況の違いを示し、今後、日本が化学物質管理の国際的な取り組みの中で主導的な立場を堅持するため	9/25 10:00-11:30	武居綾子	イカルス・ジャパン
	4	化学物質管理に関する国際動向(2)		9/25 11:50-13:20		
	5	化学物質管理と予防原則	予防原則が生まれた社会的背景と予防原則の基本的考え方及び具体的な適用、予防原則/予防措置に関する国際的議論の動向について解説する。	11/6 10:00-11:30	加藤順子	三菱化学安全科学研究所
化学物質管理と地域社会(1)	6	化学物質管理と地域社会(1)	日本の高度成長期の経済活動進展に伴う硫酸化物、有機性汚濁物質等による産業公害に対し、環境汚染物質(化学物質)管理のために市民や企業と自治体がとった連携、関わりについて、加えて、近年の低濃度でも長期的暴露による影響が懸念されるダイオキシン類や内分泌かく乱化学物質など科学的未解明な部分が多い化学物質の問題への対応について、北九州市の事例を中心に解説する。	10/30 10:00-11:30	井上正治	北九州市環境局
	7	化学物質管理と地域社会(2)		10/30 11:50-13:20	垣迫裕俊	北九州市環境局
企業経営と化学物質リスク管理	8	企業を取り巻く社会環境の変化とリスクマネジメント	経済産業のグローバル化、様々な地球環境問題の顕在化、あるいは消費者や市民の健康に関する不自信の高まりなど、1980年代からの企業を取り巻く社会環境の急激な変化の概要を解説し、こうした変化に対する国内外の産業界、政府、国際機関などの取組みを解説する。	11/6 11:50-13:20	西山紀彦	元三菱化学株式会社
	9	企業経営と化学物質リスク管理(1)	化学物質総合管理体系の概念と、企業経営における環境マネジメントシステム(ISO14001など)、労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001など)などの相互関係、相補性などについて解説する。加えて化学物質管理における化学製品製造者の責任体制の基本的な構造と活動について、レスポンス・ケアの取組みを説明する。	10/2 10:00-11:30	星川欣孝	ケミカルリスク研究所
	10	企業経営と化学物質リスク管理(2)		10/2 11:50-13:20		
	11	労働安全衛生管理と化学物質リスク管理	わが国の労働安全衛生管理について、事故・健康管理などの労働災害事例と対応策、現行体制の構造と体制構築への経緯について解説する。加えて企業内の管理体制・取組みなど労働安全衛生管理を化学物質管理の側面から概要を説明する。	10/23 10:00-11:30	吉岡 洋	製品評価技術基盤機構
	12	プラント安全管理と化学物質リスク管理	わが国の設備安全・防災管理について、輸送安全管理を含めた現行体制の構造、体制構築への経緯、企業内の管理体制の構造、設備事故例、輸送事故例・対応策等について化学物質管理の側面から概要を解説する。	10/16 11:50-13:20	坂 清次	元三菱化学株式会社
	13	環境保全管理と化学物質リスク管理	わが国の環境保全管理の現行体制の構造、体制構築への経緯、企業内の管理体制の構造、環境汚染の事例等についての概要を解説し、現在実施中または構築中の環境報告書、環境会計、環境パフォーマンス、グリーンケミストリー等について概要と実施例などを説明する。	10/23 11:50-13:20	星川欣孝	ケミカルリスク研究所
	14	リスク情報の収集分析と化学物質管理(1)	化学物質の研究・開発から製造段階におけるリスク管理のための科学的的手法による情報と法規等に関する内外の情報の収集・分析と企業における上市前の経営判断について解説する。	11/13 10:00-11:30	石川勝敏	製品評価技術基盤機構
15	リスク情報の収集分析と化学物質管理(2)		11/13 11:50-13:20			